

## きゅうり生産者の学習組織 環境制御技術を学ぶ

～環境制御技術の習得に向けた取り組み～

山武農業事務所改良普及課 令和4年3月16日発

山武地域では、栽培管理について互いに学び合うきゅうり生産者の学習組織が活動しています。12月23日に環境制御技術の習得を目的に、生産者5名が栽培コンサルタントを受講しました。環境制御技術とは、作物の栽培で重要な光・温度・湿度・二酸化炭素濃度などの環境要因を測定・データ化し、生育に適した環境づくりを行うことです。

今回の講習会では、3軒の生産者のほ場を巡回し、温度管理やかん水量、土壌水分の確認、カーテンの開閉などについて実際に植物体を見ながら指導を受けました。参加者は、データを活用した環境制御技術について、コンサルタントの話を熱心に聞いていました。講習会后、参加者からは、「学んだことを活かして、明日から暖房の設定を変えてみる」など環境制御技術習得に向け、前向きな感想が多く聞かれました。

農業事務所では、生産者と共に考えながら環境制御技術の習得の支援を続けていきます。



講習会の様子



土壌水分の確認の様子